

化学療法実施計画書（投与日程）

レジメン名＝大腸癌TS-1＋隔週CPT-11＋BEV(内科)

(対象疾病＝)

《初回開始日》 年 月 日
 今回〔 〕クール目

身長＝ cm
 体重＝ kg
 体表面積＝ m²
 Ccr ＝

担当医

薬剤 (商品名, 一般名)	1日投与量 (/m ² or /kg)	投与法 点静・静注	投与時間 (min)	1クール投与スケジュール(日目)																																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
1 アバステン(BEV)	5mg/kg	点静	90	↓																																		
2 イリノテカン(CPT-11)	100mg/m ²	点静	120	↓																																		
3 TS-1	80mg/m ² ★	経口		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓			
★TS-1	体表面積																																					
	1.25m ² 未満	40mg×2回/日																																				
	1.25～1.5m ² 未満	50mg×2回/日																																				
	1.5m ² 以上	60mg×2回/日																																				
前投薬	5-HT ₃ 拮抗薬 デキサメタゾン	1A 6.6mg	点静 点静	↓ ↓																																		
投与日程																																						
副作用																																						
1クール期間	28日	クール回数		※アバステンは、初回投与時は、90分で点静、忍容性良好であれば、60分で点静可能。 2回目の投与で忍容性良好であればそれ以後の投与は、30分で点静可能。																																		
休薬期間																																						

【備考】	
☆予想される重篤副作用	骨髄抑制、下痢・嘔吐、腸炎、消化管出血、間質性肺炎 消化管穿孔、創傷治癒遅延、出血、血栓塞栓症、高血圧性脳症・ 高血圧性クレーゼ、可逆性後白質脳症症候群、 ネフローゼ症候群、うっ血性心不全(アバステン)
☆副作用対策	補液、制吐剤 緊急対応ガイド参照・適正使用ガイド参照(アバステン)
☆実施中止条件	重篤な骨髄抑制、高度な下痢など

(アバステン休薬基準) G: Grade
 ・G3以上の血液毒性または、G2以上の非血液毒性
 ・出血G2、タンパク尿G2、肝機能障害G3
 (アバステン中止基準)
 ・過敏症G3、消化管穿孔または裂開が発現した場合、出血G3、
 喀血G1、血栓症/塞栓症(静脈系)G3
 ・血栓症/塞栓症(動脈系)G1、高血圧(薬剤によるコントロール
 不可能なG3)、タンパク尿G4
 ・可逆性後白質脳症症候群出現時、中枢神経障害症状または
 画像所見が認められた場合
 ※国内臨床試験の基準を参照